

健康福祉局健康安全部健康安全課医務担当課長
(港南区福祉保健センター医務担当課長兼務)
横山涼子

【現在の職場】

現在、港南福祉保健センターに勤務しています。

港南区は市の南部に位置し、人口は約 21 万人、高齢化率が約 28%です。

健康意識の高い住民も多く、保健活動推進員や食生活等改善推進員など地域の方々と共に、健康づくり活動を進めています。

【現在の業務内容】

最近では、健診受診率の低い働き世代に対して、健康経営を取り入れた社員の健康づくりに企業が取り組めるよう、働きかけやサポートに力を入れています。

また、QR コードを活用して検診申し込みの利便性向上や、肺がん検診時の未就学児一時保育を行い、小さなお子さんのいる方も受検しやすくしました。区民のライフスタイルや問題点を検討し、アイデアを出しながらチームで仕事を進めています。この他にも感染症や食中毒などの健康危機管理、乳幼児健診などに携わっています。

臨床医時代とは、仕事のペースも仕事の内容も全く異なり、入庁直後はとまどいもありました。しかし仕事を続けてみると、自分の日常生活と密着したものが多く、興味深く毎日を過ごしています。放射線科診断学を専門としていた為、結核健診やがん検診の読影ではお役に立てているようです。また子育て中の為、乳幼児健診ではお母さん達の悩みが手に取るように分かり、自分自身も勉強しながら診察をしています。

【横浜市に入職を希望する皆様に】

行政医師の仕事の良さは、市民の方が安全で健康に過ごせるように、多職種の職員と一緒に知恵を出し合いながら仕事を進められるところです。少しでも興味を持たれた方、ぜひ横浜市保健所へ見学にいらして下さい。お待ちしております。



乳幼児健診の様子



結核カンファレンスの様子(右奥)。週に1回、保健師や事務職員と話し合いを行う。